

新潟県魚類目録補訂(Ⅲ)

本 間 義 治

(新潟大学佐渡臨海実験所)

Further additions to "A list of the fishes collected in the Province
of Echigo, including Sado Island" (Ⅲ)

Yoshiharu HONMA

(Sado Marine Biological Station, Niigata Univ.)

1954年3月以来、著者は佐渡臨海実験所周辺の沿岸魚を調査し、前報までに未掲載の種類を若干得ることができた。これと同年12月までに機船底曳網で採集された分を合わせて、16種(亜種を含む)をここに続報したい。記載に用いた標本は、すべて当実験所内に保存してある。本報により、本県産の魚類は432種となる。

常に御指導をいただいている平坂恭介所長をはじめ、数々の御便宜をいただいている京都大学松原喜代松教授、ならびに標本の御同定をいただいた水産講習所石山礼蔵教授、東海区水産研究所阿部宗明博士に厚く御礼申しあげる。

Family Rajidae

Genus *Breviraja*

1. *Breviraja smirnovi* (SOLDATOV et PAVLENKO) ドブカスベ

産地：佐渡沖(シベリヤ沿岸、紋別、稚内、船川、佐渡、舞鶴、隠岐等)

1953年末に底曳網で漁獲された全長200mm級のもの2尾は、石山教授によつて本種と査定された。同教授はすでに佐渡沖より4尾の標本を得ておられ、* 本地先では200ヒロ前後の深海底に棲息すると考えられる。

Family Exocoetidae

Genus *Cypselurus*

2. *Cypselurus heterurus doederleini* (STEINDÄCHNER) ツクシトビウオ

産地：達者湾、尖閣湾を始め大佐渡沿岸(屋久島以北の日本沿岸ほとんど各地、北は石狩湾まで)

3. *Cypselurus opisthopus hiraii* ABE ホソトビウオ

産地：達者湾、尖閣湾を始め大佐渡沿岸(日本沿岸ほとんど各地、北は青森県、北海道西部、噴火湾まで)

上記2種は、阿部博士の同定を得た。本地先ではサンマの産卵期にすぐ続いて、6月初旬よりブリ定置網やトビウオ刺網で漁獲される。湾内へ深く突入して産卵を行い、7月いっぱいに行われるらしい。幼魚は8月に最も多く見られ、相当数を採集することができた。

なお本誌2巻3号, p. 143, 96. *Cypselurus agoo* (TEMMINCK et SCHLEGEL) については、

*ISHIYAMA, 1952: Jour. Shimonoseki Coll. Fish., ii (1), p. 4.

同博士が述べておられるごとく上記2種の誤りであるので、該種が採集せらるゝまでこれを目録から除くことにする。

Family Atherinidae

Genus *Iso*

4. *Iso flos-maris* JORDAN et STARKS ナミノハナ

産地：佐渡相川町達者（中部日本の太平洋岸から、南日本、釜山、熱帯地方）

1954年11月24日に1尾、1955年2月26日に11尾を実験所前面の黒嶋で、手網で採集した。全長48.1mmから69.0mm。

日本海中部からは未記録のようであり、現在までのところ本地方が分布の北限にあたる。

Family Gobiidae

Genus *Eviota*

5. *Eviota abax abax* (JORDAN et SNYDER) イソハゼ

産地：大佐渡沿岸一帯（千葉県より、三重県、奄美大島、ポリネシア等）

厳冬季を除けば、沿岸の岩礁帯や潮溜りに普通に見られる。全長13mmより29mmまでの標本若干。小型種で、いずれも胸鰭基底に2個の暗色斑のある型ばかりである。

本種も大佐渡沿岸が高緯度でもあり、記録上分布の北限にあたると思われる。

Genus *Pterogobius*

6. *Pterogobius elapoides zonoleucus* JORDAN et SNYDER チャガラ

産地：大佐渡沿岸一帯（千葉県より長崎県に至る太平洋岸、朝鮮南部、日本海中部では富山湾）

本種はキヌバリ *Pterogobius elapoides elapoides* より出現期間が長く晩秋でも見られる。小湾内や潮溜りに多数群泳している。

Family Gobioidae

Genus *Aspasma*

7. *Aspasma ciconiae* JORDAN et FOWLER ツルウバウオ

産地：佐渡相川町小川；同達者（南日本の沿岸および朝鮮南部）

1954年5月27日小川で2尾、同年10月26日に実験所前面の黒嶋で2尾を採集したのみで、ごくまれである。全長はそれぞれ30.1；27.8；および43.5；27.9mmである。この中最大形のものの測定は、D. 11；A. 7；P. 18；体長は頭長の2.37倍；体高の6.28倍；尾柄高の10.18倍；体中の4.83倍；頭中の3.85倍；吻端より肛門ならびに背鰭始部までの距離のそれぞれ1.53倍；1.30倍。頭長は眼径の4.97倍；吻長の3.46倍；両眼間隔の3.38倍；上顎長の3.18倍。体はいちじるしく縦扁し、頭は大きく、背鰭および臀鰭は尾鰭の基底に近接しているが、連絡はしていない。生時の体色は複雑で、緑褐色から赤褐色を示し、頭部より胸部にかけて不明瞭な暗褐色帯が数条存在する。しかしホルマリン液浸では、一様に黄色乃至は赤褐色となる。

本種も分布上、本地先が北限地帯と考えられる。

Family Echeineidae

Genus *Echeneis*

8. *Echeneis brachyptera* LOWE クロコバン

産地：佐渡相川町達者沖（太平洋，大西洋，印度洋等広く分布する）
1954年8月3日にブリ定置網に入った124.0 mmのもの1尾。

Family Tripterygiidae

Genus *Tripterygion*

Enneapterygius RÜPPELL, 1835 は *Tripterygion* RISSO, 1826 の異名 (SCHULTZ, 1950, p. 268 参照)

9. *Tripterygion bapturus* JORDAN et SNYDER ヒメギンボ

産地：佐渡相川町達者（房州，三崎，静岡県，鹿児島）

1954年7月24日に1尾捕えたのみで，ごくまれである。全長 69.3mm。I D. III; II D. XVIII; III D. 11; A. 27; V. 2; P. 16; 体長は 60.0mm で頭長の 3.66 倍；体高の 5.12 倍；体巾の 6.82 倍；胸鰭長の 2.86 倍；腹鰭長の 5.04 倍；吻端から肛門および第1背鰭始部までの距離のそれぞれ 2.61 倍；4.62 倍。頭長は眼径の 3.90 倍；吻長の 3.42 倍；両眼間隔の 12.62 倍；上顎長の 2.48 倍である。臀鰭の前方2条は遊離している。胸鰭は大きく，眼上に小皮質突起が1対ある。生時の体地色は淡赤色で，非常に美しいが，ホルマリン液浸では淡灰黄色となり，体側に不明瞭な暗褐色斑が存在する。臀鰭の大半は黒色。

本種は熱帯性ギンボであり，日本海側からは初記録と思われ，本地先に分布することは，注目に値する。（その後 1955年8月23日に達者で2尾を採集した。）

Family Blennidae

Genus *Dasson*

10. *Dasson trossulus* (JORDAN et SNYDER) ニジギンボ

産地：相川町達者（小湊，三崎，高知，釜山，富山湾，パラオ等）

1954年8月17日大時化の後，流れ藻の下に群泳していたのを若干採集した。全長 37.9, 39.0, 42.8mm の3尾のみ保存してある。（その後 1955年9月29日に達者で10尾を採集した。）大佐渡沿岸一帯に分布するものと考えられる。

Genus *Azuna*

11. *Azuna emmion* JORDAN et SNYDER フサギンボ

産地：佐渡相川町達者；新潟県北蒲原郡藤塚沖（東北地方から北海道の沿岸ならびに富山湾，朝鮮東岸等）

1954年4月16日に全長 311.0mm のもの1尾を達者で延縄で得，さらに4月20日には，藤塚沖 85 ヒロの底曳網漁獲物中から全長 232.0mm のもの1尾を得た。まれではない。

Genus *Ernogrammus*

12. *Ernogrammus hexagrammus* (TEMMINCK et SCHLEGEL) ムスジガジ

産地：佐渡相川町達者（函館，小樽，長崎，宮島，富山湾等）

1954年8月6日実験所前の競泳用塩水プールで1尾，さらに1955年3月8日実験所前の潮間帯より6尾採集した。

Genus *Lumpenus*

12. *Lumpenus macrops* MATSUBARA et OCHIAI メダマギンボ

産地：佐渡水津沖；佐渡の北東沖（石川県南西岸金石および富山湾）

1954年3月12日に水津沖 250 ヒロの底曳網で全長 147.2mm のもの1尾，さらに同年12月10日佐渡北東沖栗島との中間辺の深所 300 ヒロの底曳網で全長 165.0mm のものが1尾得ら

れた。D. LII 及び LV: A. I, 35; P. 13; 1 縦列鱗数 120。体長は頭長の 4.64 および 4.63 倍; 体高の 8.67, 9.09 倍; 体中の 11.71, 13.64 倍; 吻端から肛門および背鰭始部までの距離のそれぞれ 1.94, 2.27 倍および 4.67, 4.06 倍。頭長は尾柄高の 6.67, 6.48 倍; 体中の 2.52, 2.95 倍; 腹鰭長の 6.22, 6.75 倍; 上顎長の 3.18, 3.18 倍; 眼径の 3.41, 3.24 倍; 吻長の 4.24, 4.63 倍; 両眼隔の 14.00, 16.00 倍。眼径は両眼隔の 4.10, 5.00 倍; 吻長の 1.24, 1.43 倍。体高は体中の 1.35, 1.50 倍である。眼は大きく円形で、鰓蓋後端は多少延長し、胸鰭基部の水準を越える。側線は不明瞭。ホルマリン液浸の体色は、淡黄褐色で、不明瞭な11個の不定暗褐色斑が体側に並んでいる。この斑紋は背鰭にも及んでいるが、その中最前のものが最も濃く黒色に近い。

本州西海岸一帯に分布しているものと考えられる。

Genus *Lumpenella*

14. *Lumpenella nigricans* MATSUBARA et OCHIAI ネズミギンボ

産地: 佐渡の北東沖 (北海道釧路沖)

1954 年 12 月 10 日佐渡北東沖粟島との中間辺の深所 300 ヒロの底曳網で、全長 325.0~335.4 mm のもの 4 尾を得た。D. LXVI~LXVII; A. II, 41; P. 13; V. I, 3; 体長は胸鰭基部の体高の 9.89~11.43 倍; 頭長の 5.56~6.12 倍。頭長は尾柄高の 4.74~5.28 倍; 体中の 2.39~2.54 倍; 胸鰭長の 1.55~1.66 倍; 腹鰭長の 5.88~6.07 倍; 上顎長の 3.52~3.79 倍; 眼径の 4.74~4.98 倍; 吻長の 2.98~3.34 倍; 両眼隔の 5.62~5.92 倍。吻長は眼径の 1.42~1.66 倍。胸鰭は眼径の 2.87~3.20 倍である。体は延長かつ側扁し、頭はむしろ小。眼は長卵形で、下顎は完全に上顎に含まれ、小さく鋭い絨毛歯が顎にのみある。口唇は厚く、側線はむしろ明瞭。体は全部鱗で覆われ、頭部も口唇および鰓皮膜を除けば全体鱗を被っている。尾鰭は截断型。ホルマリン液浸の体色は、全体ほぼ一様に灰黒褐色である。

本州西海岸から北日本一帯にわたって分布しているものと考えられる。

Family Zoarcidae

Genus *Gengea*

15. *Gengea japonica* KATAYAMA

産地: 佐渡水津沖 (兵庫県諸寄, 津居山, 富山湾)

1954 年 3 月 12 日 250 ヒロの底曳網で、メダマギンボといつしよに発見されたもので、全長 239.0 mm のもの 1 尾。D. 92; A. 90; P. 11; V はない。全長は頭長の 6.77 倍; 体高の 14.31 倍; 体中の 17.57 倍; 吻端から肛門および背鰭始部までの距離のそれぞれ 3.32 倍; 3.04 倍; 胸鰭基部から肛門までの距離の 6.11 倍。頭長は体高の 2.11 倍; 体中の 2.60 倍; 胸鰭長の 2.28 倍; 頭中の 2.08 倍; 上顎長の 1.97 倍; 眼径及び吻長の 5.04 倍; 両眼隔の 7.06 倍; 鼻管の 23.53 倍。胸鰭基部から肛門までの距離は、胸鰭長の 2.52 倍ある。ホルマリン液浸の体色は淡褐色で、体背側に 7 個の白色の狭横帯があり、第 1, 第 2 番目のものを除いて、いずれも背鰭に延長している。第 1 番目のものは胸鰭の上方にあり最も長く、後方のものほど短くなる。第 2 番目のものは背鰭のやや前方に存在するが、他はいずれも背鰭長の 2/3 以内に含まれる。この第 2 番目の白色帯の直後に黒色斑紋があるほか、同様の斑紋が背鰭に存在する白色帯の前か後または、それを狭んで 5 個存在する。胸鰭は先端のみ白色で、上側方の大半は黒色である。臀鰭は暗色で、背鰭の上縁も暗色を帯びる。

本州西海岸一帯に分布しているものと考えられる。

Family Antennariidae

Genus *Pterophryne*

16. *Pterophryne ranina* (TILESIIUS) クロハナオコゼ

産地：佐渡相川町達者沖（本州中部以南，南日本，東印度，アフリカ，濠洲，大西洋等）

1954年8月5日ブリ定置網で漁獲された全長148.0 mmのもの1尾。

文 献

前報までに掲載の分は除く。

- ABE, T. 1953: Figures and description of the fishes of Japan, xlix, 962—968, pl. 191.
 — 1954: *ibid.*, l, 991—996, pl. 197.
- CLEMENS, W.A. and WILBY, G.V. 1949: Fishes of the Pacific coast of Canada. Bull. Fish. Res. Bd. Canada, lxxviii, 1—368.
- 疋田豊治・三楯 寛, 1952: 魚類調査(昭和26年度). 北部日本海深海魚田調査報告, (3), 5—70.
- KATAYAMA, M. 1943: On two new ophidioid fishes from the Japan Sea. Annot. Zool. Jap., xxii (2), 101—104.
- 片山正夫, 1952: 但馬沖の北方系魚類について. 山口大教育学部研究論叢, ii (1), 94—100.
- 松原喜代松, 1955: 魚類の形態と検索. I. 789 pp.
- MATSUBARA, K. and OCHIAI, A. 1952: Two new blennioid fishes from Japan. Jap. Jour. Ich., ii (4/5), 206—213.
- MORI, T. 1952: Check list of the fishes of Korea. Mem. Hyogo Univ. Agri., i (3), 1—228.
- SCHULTZ, L.P. 1950: Notes on the blennioid fish genera *Runula* (subfamily petrosirtinae) and *Tripterygion* and *Helcogranma* (family Clinidae), of the American tropical Pacific. Jour. Washington Acad. Sci., xl (8), 266—268.
- SNYDER, J.O. 1912: Japanese shore fishes collected by the United States Bureau of fisheries Steamer "Albatros" expedition of 1906. Proc. U. S. Nat. Mus., xlii (1909), 399—450.
- 富山一郎, 1951: ヒメギンボ *Enneapterygius bapturus* (JORDAN et SNYDER) に就いて. 動雑, lx (4), 89—90.
- 1951: ニジギンボ *Dasson trossulus* (JORDAN et SNYDER) に就いて. 動雑, lx (8), 159—161.

Résumé

In this report the author has further more enumerated sixteen unrecorded species of fish with their brief description, which are to be included into ichthyofauna of Province Echigo and Sado Island of the Japan Sea.

Among these fish, there are twelve shore fish and tide-pool fish, which were caught by hand net, set net prepared for yellow-tail, gill net for flying fish, and by rod line in the vicinity of Sado Marine Biological Station. For the following asterisk marked six fish, it is considered that the locality is the northern limit for their existence.

1. *Cypselurus opisthopus hiraii* ABE
2. *Cypselurus heterurus döderleini* (STEINDACHNER)
- *3. *Iso flos-maris* JORDAN et STARKS
- *4. *Eviota abax abax* (JORDAN et SNYDER)

- *5. *Pterogobius elapoides zonoleucus* JORDAN et SNYDER
- *6. *Aspasma ciconiae* JORDAN et FOWLER
- 7. *Echeneis brachyptera* LOWE
- *8. *Tripterygion balturus* (JORDAN et SNYDER)
- *9. *Dasson trossulus* (JORDAN et SNYDER)
- 10. *Azuna emmion* JORDAN et SNYDER
- 11. *Ernogrammus hexagrammus* (TEMINK et SCHLEGEL)
- 12. *Pterophryne ranina* (TILESUS)

The following four species of deep sea bottom fish were caught by motor trawler off the coast of Suizu of Sado Island in middle Japan. They are also the species unrecorded hitherto in this locality.

- 13. *Breviraja smirnovi* (SOLDATOV et PAVLENKO)
- 14. *Lumpenus mactops* MATSUBARA et OCHIAI
- 15. *Lumpenella nigricans* MATSUBARA et OCHIAI
- 16. *Gengea japonica* KATAYAMA